



「ありがとう」の心を大切に

校長 尾上 清

45日間の長い夏休みも終わり、9月1日から2学期がスタートしました。朝、校門に立っていると、笑顔いっぱいに挨拶をしたり、私のところに寄ってきて「校長先生、おはようございます。」と自ら声を掛けてくれたりする子供たちに出会うことができ、ほっとしています。目をキラキラさせて登校してくる子供たちと接したことで、私の心のスイッチもしっかりと入りました。



今年の夏も災害級の厳しい暑さが続き、健康管理が難しかったと思います。地震や大雨、台風などによる災害も各地で起こり、自然災害の怖さも感じた夏でした。

そんな夏休み期間中に、大きなけがや病気、事故などの報告もなく、無事に9月の生活を迎えられたことは、地域や保護者の皆様の温かい御支援・御協力のおかげだと心より感謝申し上げます。

始業式で、子供たちに以下のような話をしました。

今年の夏休みも、日本各地で大きな災害が起こりました。世界でも起きています。

7月28日には、熊本で震度7の大きな地震が起きました。約3万1800棟の住宅に被害が出ました。38人の方が亡くなりました。334人の方がけがをしています。

8月13日には、千葉を中心に大雨が降り、約4600棟の住宅に被害が出ました。13人の方が亡くなり、44人の方がけがをしています。いまだ行方不明となっている方もいます。

台風による被害もありました。8月7日の13号、8月11日の15号、8月26日の18号。強い雨や風による被害、川の増水による浸水や土砂災害などが起こりました。被災地は、復旧の途中にまた次の災害が起きている状態です。

このように地震や大雨、台風などによって、家が壊れたり、道路が使えなくなったり、これまでの生活を続けることが難しくなったりした人たちがいます。

そして、夏休みが終わった今も、避難生活を続けたり、壊れた家や町の復旧を待ちながら、大変な生活を送っている人たちがいます。

学校が避難所となったまま、2学期をスタートした学校も数多くあります。

一方、私たちは今日、こうして学校に来ることができました。

朝、家族に「いってきます。」と言って家を出ることができました。

学校に来れば、友達がいます。先生がいます。勉強する教室があります。給食を食べることができます。

そして、今日ここにいる皆さんが、元気に2学期を迎えることができました。

こうしたことを、私たちはつい「当たり前」と思ってしまいます。でも、本当は、当たり前のように見える毎日の中に、たくさんの人の支えと、たくさんの幸せがあるのです。

家族が支えてくれていること。友達が一緒にいてくれること。先生が教えてくれること。給食を作ってくださる方や学校をきれいにしてくださる方、皆さんの安全を守ってくださる方がいること。そう考えると、私たちの毎日は、たくさんの「ありがとう」に囲まれています。だから、2学期はぜひ、「ありがとう」を大切にする学期にしたいと思います。

「ありがとう。」と言葉にする。

困っている友達がいたら、声を掛ける。

誰かが頑張っていたら、「頑張っているね。」と伝える。

誰かにしてもらったことを、当たり前だと思わない。

そんな小さな『ありがとう』の積み重ねが、みんなの心をあたたかくしていきます。

皆さんが目指しているのは、「一人一人が輝く あたたかな学校」です。

あたたかな学校は、特別なことをすることで、できるではありません。

「お互いを大切にする気持ち」「支えてくれる人への感謝」そして、「その感謝を相手に届けること」そこから、あたたかな学校はつくられていきます。

今日、元気に ここにいることに感謝しましょう。

一緒に過ごす友達がいることに感謝しましょう。

支えてくれる家族や先生がいることに感謝しましょう。

そして、いつもの生活を支えてくださっている、たくさんの人に感謝しましょう。

そんな気持ちを忘れずに、2学期も1学期と同様に周りの人とあたたかく関わっていきましょう。

皆さん一人一人の『ありがとう』が、誰かの心を明るくし、そして学校全体をもっとあたたかくしてくれることを、校長先生は期待しています。

今日、皆さんに会えたことを、私は心からうれしく思います。「ありがとう。」

泉小のみんなで支え合いながら、心がつながる あたたかな素晴らしい2学期をつくっていきましょう。

私たちは、毎日を平穩に過ごしていると、その幸せを「当たり前」と感じてしまいがちです。しかし、少し立ち止まって周りを見渡せば、自分を支えてくれている人がたくさんいることに気付きます。そして、**感謝の気持ちは、心の中で思うだけでなく、言葉や行動に表すことが大切です。**

「ありがとう。」「助かったよ。」「うれしかったよ。」… そんな温かな言葉が交わされることで、人と人とのつながりは、よりあたたかいものになっていきます。

これは、学校だけで身に付けるものではありません。ぜひ御家庭でも、子供たちと一緒に『**ありがとう**』を見付けてみてください。

例えば、家族の誰かがしてくれたことに「ありがとう。」と伝えること。食事を作ってくれた人に「おいしかったよ。」と伝えること。誰かのために自分ができることを一つやってみること。そんな小さな積み重ねが、人のあたたかさに気づき、自分も「**人をあたたかくできる人**」へと成長する力になると思います。

2学期は、学習や様々な行事、友達との関わりを通して、子供たちが大きく成長する学期です。時には、思うようにいかなかったり、友達と考えがぶつかったりすることもあるでしょう。そんな経験も、子供たちが「**考える力**」「**つながる力**」「**人とあたたかく関わる力**」を育てる大切な機会です。「ピンチをチャンスに」「失敗から学ぶ」という姿勢を忘れずに、様々なことにしっかりと向き合っていきたいと思います。

学校と家庭が同じ方向を向き、子供たちの成長を支えていくことができればと思います。

「今日も元気に過ごせたね。」「誰かにありがとうって言えたね。」「誰かのために何かできたね。」… 御家庭でも、そんな子供たちの小さな気づきや行動を見付け、認め、励ましていただけたら幸いです。

2学期も、「**一人一人が輝く あたたかな学校**」を目指して、子供たちとともに歩んでまいります。御家庭の皆様と子供たちの成長を喜び合える2学期にしていきたいと思います。どうぞ、引き続き御理解と御協力のほど、よろしくお願いします。